

分析結果報告書〔4〕 1 / 2

2 . ガス試料(臭気指数)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得(複数回答可)	1 . ISO 9001~9003 2 . ISO 14001 3 . ISO/IEC 17025(ガイト'25) 4 . M L A P 5 . 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者(オペレーター)名	
分析主担当者の経験年数	()年
分析主担当者の実績(年間の分析試料数)	()

臭気指数の結果 注1)	標準偏差 注2)	測定回数 注3)

注1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。結果は整数で記入する。なお、測定を2回以上行った場合は、平均値を記入する。

注2) 測定回数3回以上の場合には、それらの分析結果の標準偏差を記入する。

注3) 試料の希釈から判別試験の一連操作を行った回数を記入する。パネルが異なった場合には、別の用紙に記入する。

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日

分析方法	1 . 推奨方法のとおり 2 . その他()
------	-------------------------

< 判定試験 >

オペレーター 年齢 性別 喫煙 臭気判定士の資格	()才 1 . 男 2 . 女 1 . あり 2 . なし 1 . あり 2 . なし
判定試験場所 場所 換気 気温 湿度	1 . 試験室(分析室) 2 . 会議室 3 . 事務室 4 . その他() 1 . 換気装置 2 . 換気窓 3 . その他の換気() 4 . 換気なし () ()%
判定試験に用いたにおい袋 材質 容量	1 . ポリエステルフィルム製 2 . その他() 1 . 3リットル 2 . その他()リットル
判定試験に用いた鼻あて	1 . 使用しない 2 . 使用する: 材質()
試料の注入に用いた器具	1 . ガラス製シリンジ 2 . その他()
試料の希釈方法	1 . すべての希釈倍率ともガラス製シリンジで直接におい袋に注入して希釈 2 . すべての希釈倍率とも希釈した試料ガスを調製した後、におい袋に入れる 3 . 上記の1、2を併用 4 . その他()
判定試験に要した時間	()分

分析結果報告書〔4〕 2 / 2

<パネル>

パネル	年齢(才)	性別	喫煙	パネルの経験 注4)
パネル1	()	1.男 2.女	1.あり 2.なし	()
パネル2	()	1.男 2.女	1.あり 2.なし	()
パネル3	()	1.男 2.女	1.あり 2.なし	()
パネル4	()	1.男 2.女	1.あり 2.なし	()
パネル5	()	1.男 2.女	1.あり 2.なし	()
パネル6	()	1.男 2.女	1.あり 2.なし	()

注4) これまでのパネル実施回数の概数を記入する。

<判定試験結果>

判定試験 パネル	注入量 (ml)							パネルの個人関値
	希釈倍率							
	希釈倍率の対数値							
パネル1	付臭番号							()
	回答番号							
	判定	1. 2.x						
パネル2	付臭番号							()
	回答番号							
	判定	1. 2.x						
パネル3	付臭番号							()
	回答番号							
	判定	1. 2.x						
パネル4	付臭番号							()
	回答番号							
	判定	1. 2.x						
パネル5	付臭番号							()
	回答番号							
	判定	1. 2.x						
パネル6	付臭番号							()
	回答番号							
	判定	1. 2.x						

注5) 付臭番号は、付臭におい袋の番号とし、「1」、「2」又は「3」を記入する。

回答番号は、当該パネルが回答したにおい袋の番号とし、「1」、「2」又は「3」を記入する。なお、におい袋を選定することが不能となった場合には無記入とする。

判定は、当該パネルの回答番号が付臭におい袋の番号と一致した場合「」、無臭におい袋を選定するか選定することが不能となった場合「x」とする。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--

